

週報

【No.848 2019/4 第3例会】

例会日:毎週金曜日
 例会場:碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866
 FAX:0566-74-5678
 Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP:http://www.anjo-rc.org

第2994回例会

2019年4月19日(金) 12:30~13:30

司会者:小野田 真代さん

ソング:「それこそロータリー」

卓上花:金魚草・スプレーカーネーション

ニコボックス報告:大坪 久乃さん

雑誌委員会:鳥居 博行君

ゲスト及びビジター:加藤 弘様 功労会員

2018-2019年度RIテーマ:

「インスピレーションになろう」

安城ロータリークラブ会長方針:

「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」

■会長:横山 真喜男

■幹事:杉山 淳一

■クラブ会報:小林喜司男・服部敦・丸山光夫

■創立日:S33年1月10日

■RI加盟認証日:S33年2月6日



■ 会長挨拶

横山 真喜男会長



■ 出席報告

浜田 周作君

会員	54名
出席義務者	42名
出席	35名
欠席	7名
出席免除者の出席	9名
出席率	86.30%
修正出席率	4月5日 第2992回例会 96.16%

■ 幹事報告

杉山 淳一幹事

1. 例会終了後、会議室にて次年度クラブアッセンブリーを行います。
2. 4/25(木) 西尾KIRARARC合同ゴルフコンペを行います。
3. 5/24(金) 18:00~鯛常分店常にて、次年度合同委員会を行います。
4. 5/31(金) 今年度最後の夜間お楽しみ親睦会を、安城コロナ・ボイスキャッツにて行います。
5. 6/7(金) 職場例会を伊那食品工業(株)にて行います。資料を配布いたします。
6. 観劇同好会より 4/21(日)御園座の観劇に申し込みされました方は、15:30開場です。
7. 例会の変更のお知らせです。事業報告を2日間に分けて行います。
 - ・5/31(金)クラブフォーラム事業報告
 職業分類・会員増強・親睦活動・会員選考・プログラム・広報・会報・雑誌・ニコボックス・出席・会場
 - ・6/14(金)クラブフォーラム事業報告
 会長・会長エレクト・幹事・副会長・会計・SAA・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー情報
 - ・6/21(金)親睦夜間例会 すず岡18:30~
 - ・6/28(金)定款により休会

◆ 地区研修協議会報告

第1分科会 寺田孝司
 第5分科会 竹内通裕
 第9分科会 小林喜司男

第2分科会 小野田真代
 第6分科会 東 隆将

第3分科会 服部 敦
 第7分科会 大坪久乃

第4分科会 鳥居博行
 第8分科会 内藤教恵

■ 第3分科会 服部 敦君

第3分科会では、ロータリークラブの会員増強に関し、ロータリークラブの世間での認知度が低い(認知度が58%)ことに着目し、いかにして認知度を上げるかについての講義がありました。

そのための広報の手段として、内部広報(自クラブや他クラブ向けの広報)及び外部広報(クラブ外の人々に対する広報)があり、前者については、いわゆるロータリーの友(雑誌)、後者についてはマスメディアの活用を挙げていました。

マスメディアに関しては、大きくとしてはWFF(ワールドフードフェスタ)や24時間テレビのブース出展(予定)を挙げ、詳細なくくり(各クラブ対象)としては、新聞社に対して根気よく自クラブの活動内容の情報を提供することを挙げておりました。

新聞社への情報提供に関しては、どうも季節感がある話題を入れると、取り上げられやすいそうです。

ロータリーの友に関してですが、極端な話ですが投稿をすることにより全国の会員約9万人に自クラブの名前や活動内容を知ってもらう機会のある雑誌であることに着目してもらい、是非投稿をしてくださいとお話がありました。

投稿するに当たり、ロータリー・アット・ワーク(写真編)がお手軽で採用されやすいという点で狙い目だそうです(ちなみに2019年3月号では縦組み22ページ目)。

投稿はホームページでも可能ですが、写真の投稿サイズの関係上、メールの方が大容量の写真が送れるそうです。

■ 第4分科会 鳥居 博行君

「社会奉仕活動のヒントをみつけよう国際奉仕を楽しみ、世界とコネクト」

ロータリー2760地区の社会奉仕活動がどんな活動をしているか説明がありました。

国際ロータリー第2760地区(愛知県)の地区及び各ロータリークラブでは多くの社会奉仕活動、環境保全活動、地域を助ける活動を行っている団体への援助活動を行っています。恵まれない子供たちへの支援、自然保護、清掃活動、青少年個育成、国際交流、伝統保全、障害者支援などあります。

1 災害支援活動

日本国内でも、地震、津波、大雨などの災害に寄付金など支援している。

2 自然保護活動

森林保護・植樹・水質保全など多くの自然環境保護活動

3 地域清掃活動

ロータリー、地域団体、自治体が主体となって、地域や公共施設などの清掃活動

町の清掃・川及び海部の清掃

4 古典等の文科継承と青少年の健全育成

長年継承されている地域にある古典芸能活動、祭事など保護し、青少年の健全育成の活動支援

5 子どもたちの健全育成と地域サポート活動

子どもたちの健全育成活動とともに、地域活動の支援を行っています。

例えばスポーツなどがあります。

あと愛知県との関わりが特に防災、環境について長年築かれていると報告がありました。

■ 第6分科会 東 隆将 君

※財団委員長より2019-20年度の目標の報告

年次基金	1人当たり150ドル
ポリオプラス基金	1人当たり30ドル
恒久基金	冠名基金を各地区1件以上設立
補助金活動	グローバル補助金・地区補助金の 活用の促進
RILレート	4月:S1=¥110

※ポリオ／職業研修チーム委員会

①職業研修チーム委員会では次年度の活動は、タイでのシャインマスカットの栽培指導を行う予定との事。

②ポリオの撲滅に取り組んで34年目、2018年のポリオ発症数は全世界で33人(アフガニスタン21人・パキスタン12人)まで減少、後少し。

日本では生後4年半の間に4回のポリオワクチン接種が必要で、4回接種で1人当たり2万円、昨年度の子供の出生は約92万人、年間184億円が必要であり、世界で1人でも居ると接種の継続が必要で、早く収束させることで日本での経済効果も大きく、1人30ドルのご寄付を是非お願いしますとの事。

※補助金委員会

2019-20年度地区補助金総額は、\$283,755ドル ¥31,213,050円

支給額上限は100万円です。

今年度までは、地区補助金50:クラブ拠出金50

次年度は、地区補助金70:クラブ拠出金30

補助金割合が多くなりましたので頑張ってください。

■ 第7分科会 大坪 久乃さん

地区青少年委員会 第7分科会「広がる青少年奉仕」に参加してきました。
次年度に向けての活動方針を岡田委員長(犬山RC)より報告がありました。
ロータリーの奉仕活動は現在「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」の5つに分けて「五大奉仕部門」と言います。
青少年奉仕は「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものである」と明記されています。
指導力養成活動がRYLAセミナーを毎年開催するRYLA委員会、社会奉仕及び国際奉仕プロジェクトに参加を具現化しているのがインターアクト、ローターアクトの両委員会、世界平和と異文化の理解を深め育む青少年交換委員会が役割を果たし、地区内ではこの4委員会が独自に委員会事業を展開しつつある現状の中、相互交流、活動理解の場として「青少年フォーラム」を本年度は地区大会と同時に開催し、また地区事業である「ワールドフードふれ愛フェスタ」にも、委員会を挙げて積極的に参加しチャリティーバザーブースの出店、場内清掃などを予定しております。
近年ロータリーのプログラムに参加してくれた青少年を対象に「学友クロスプロモーションの概念」を導入してきました。ロータリー財団奨学生、米山学友、青少年奉仕事業の参加者であるロータリーファミリーの青少年たちに各委員会の枠を超え、横の交流を盛んにし、ロータリーをより理解し属しているプログラム以外の事業にも参加してもらおうという考え方です。
ロータリーに係る多くの青少年たちが交流できる場を提供し、学友同士がもっと盛んに横の繋がりを知ってもらいロータリーの青少年事業を通じてロータリーのファンを増やす取り組みを始めました。
地区だけの対応には限界もあります。是非とも青少年ファミリーの若い力とタイアップして合同事業等を実地していただきロータリーの知名度を上げ、関心を持ってくれるように仕掛けて頂けるよう皆様の応援とご協力をお願い申し上げます。

■ 第8分科会 内藤 教恵さん

この分科会は米山記念奨学委員会が担当です。
私は米山に出向させていただいて、思ったことは米山記念奨学委員会の事業規模は大きい！ロータリーの奉仕活動は領域も広い、奥が深いです。偉業というのでしょうか。

初めに米山奨学会についてざっくりお話しします。皆さまご存じの外国人留学生を支援する民間最大級の奨学団体です。勉学、研究を志して、日本に在留している。外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始めた国際事業が、国内の全ロータリーの合同事業に発展したものです。将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが目的です。また経済的な支援だけでなく世話クラブとカウンセラー制度があるのが特徴です。嘗ては学生さんの貧困をフォローする事業でしたが、現在はステップアップしました。1年もしくは2年ロータリーに付き合っていて、日本のロータリーを理解していただく事業になっています。将来ロータリアンになってもらいたいと期待があるようです。会場で内モンゴル出身のポルジトさんと名刺交換をしました。彼は名古屋アイリスロータリーの会員です。既にロータリアンになった学友にお会いしました。

次に米山記念奨学委員会の動きですが、委員会はこれから(総務・寄付金増進委員会)(教育事業推進委員会)(奨学生・学友会委員会)(渉外事業推進委員会)の4部門で活動していきます。そして、学生さんが対象ですので、先日4月11日(木)に今年度の入学式に当たるオリエンテーションを行いました。新奨学生は37名です。2年目の学生を含め54名の奨学生のお世話をします。5月18日(土)は春季米山奨学生学友合同研修会が予定されています。また、7月25～29日に米山学友世界大会「絆inモンゴル」が開催されます。つきましては米山記念奨学委員会の奉仕事業に、ご理解・ご協力・ご寄付をお願いいたします。

■ 第9分科会 小林 喜司男君

・日時:4/14, 14:50～16:25 ・会場:青雲の間 ・参加人数:登録は274名、参加は半分。

・テーマ:「クラブのメンバーとの絆をふかめましょう」

入会3年未満の新会員の研修に、現ガバナーと次期ガバナーが揃ってお話することは前例が無い。それだけ新会員に力をいれている。(会員が減ってきているので)

村井總一郎ガバナーより(約30分)「ロータリーのこころ」について

・ロータリーとは:利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体。

・ロータリーの目的、奉仕の理念、クラブの目的、五大奉仕部門、四つのテストについてお話がありました。

ロータリーは知っていても、知らなくてもロータリー活動はできます。でも知っていた方がより楽しくできます。ですから、ロータリーのことを少しずつでも勉強していきましょう。それには、2月の新会員研修の「今日からロータリアン」でもいいですし、ホームページからダウンロードできる、「超入門 職業奉仕の入り口」の冊子を読んでください。

2. 伊藤靖祐ガバナーエレクトより(約30分)「グローバルに考えるロータリー」

仕事を持っている人や地域の指導者が、世界的平和の為、国際親善の為に集まった団体がロータリー。

ロータリーとJCで決定的に違うのは、インターナショナルかどうかということ。

ポリオ撲滅活動をしている。ロータリーが500ドル出せば、ビルゲイツ財団は2倍の1,000ドル寄付する。前年度は29人の発症。何で29人のために何億ドルも寄付しないといけないのか、要はうちつづけないといけない、止めてしまうとまた広がり始める。昔は、日本でも小児麻痺の同級生がいた。今はもう根絶した。でもまだ世界ではある。グローバルに考える意識を持ってください。

最後は平和を推進すること。8,600万ドルの補助金。疾病の予防が3,500万ドル、安全な水が1,800万ドル、教育で1,000万ドル、地域の安全で1,000万ドル。みんなの力が集まるとこれだけのことができる。日本はだんだん人口が減る。そうすると会員もこのままでは減る。みなさん止めないで下さい。最初はおもしろくないかもしれないが、そのうち楽しくなります。我慢して続けてください。

早川次期研修委員長より(約20分)「ロータリーを楽しむには」

まず参加してみる。奉仕活動、例会や委員会活動に参加してみる。そして一番大事なことは、ロータリーを知ること。定款、細則、内規も。

ロータリーの3つの義務:クラブの会費を納入すること。例会に出席すること。ロータリーの友を購読すること。まずここから始めてはいいがでしょう。